

平成 21 年 6 月 30 日

各 位

会 社 名 SBI ネットシステムズ株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 内山 昌秋
 (コード番号 2355 東証マザーズ)
 問 い 合 せ 先 経営企画部長 前田 真嗣
 電 話 番 号 03-5447-2551(代表)

支配株主等に関する事項について

1. 親会社等の商号等

(平成 21 年 3 月 31 日現在)

親会社等	属 性	親会社等の議決権 所有割合(%)	親会社等が発行する株券が上場 されている金融商品取引所等
SBI ホールディングス株式会社	親会社	81.0 (9.6)	株式会社東京証券取引所 市場第一部 株式会社大阪証券取引所 市場第一部

(注) 「議決権の所有割合」欄の(内書)は間接所有であります。

2. 親会社等の企業グループにおける上場会社の位置付けその他の上場会社と親会社等との関係

当社の親会社は、SBI ホールディングス株式会社であり、同社を中心とした企業集団(以下、「SBI グループ」という。)は、ファンド運営事業を中心とする「アセットマネジメント事業」、証券業務を主とする「ブローカレッジ&インベストメントバンキング事業」、様々な金融関連サービスを提供する「ファイナンシャル・サービス事業」、住宅不動産投資を中心とする「住宅不動産関連事業」、及び「システムソリューション事業」の 5 つを中核的事業と位置付け、顧客中心主義の基、より革新的なサービスの提供を行っております。

当社は、「システムソリューション事業」のコア企業として位置付けられており、従来のセキュリティ事業をベースに据えつつ、金融システム等の関連分野にも積極的に事業を拡大しております。

当社の役員 7 名(平成 21 年 6 月 24 日現在)のうち、SBI グループ企業(SBI ホールディングス株式会社、その子会社及び関連会社)との兼務者は 3 名おりますが、その就任は、当社の経営方針及び事業運営に関して総合的な助言を得るとともに、SBI グループ企業との相乗効果を最大限に発揮し企業価値を高めるために当社が要請したものであります。

当社は、SBI グループにおいて情報セキュリティ事業及び金融システム事業という独自の事業領域を確立し、グループ各社との棲み分けができていますので、自由な事業活動を行える状況にあるものと考えております。

当社は、SBI グループ企業との連携を強化し、相乗効果が発揮されるように事業展開を図る方針ですが、親会社からの事業上の制約はなく、また役員の兼務についても当社独自の経営判断を妨げるものではなく、親会社からの一定の独立性が確保されているものと認識しております。

(役員の兼務の状況)

当社における役職	氏 名	SBI グループ企業における主な役職	就任理由
代表取締役会長	澤田 安太郎	SBI ホールディングス株式会社 取締役執行役員 CFO	当社の経営体制を強化し、また経営に対する総合的な助言を得るため
取締役	岩吉 直樹	株式会社 SBI 証券 取締役執行役員経営企画部管掌	当社に対するシステムの助言を得るため
監査役	中屋 建治	モーニングスター株式会社 監査役	監査体制強化のため

3. 親会社等との取引に関する事項

第12期(自平成20年4月1日至平成21年3月31日)

種類	会社等の名称 又は氏名	所在地	資本金 又は出 資金 (百万円)	事業の内容 又は職業	議決権等 の所有(被 所有)割合 (%)	関連当事者 との関係	取引の内容	取引 金額 (千円)	科目	期末 残高 (千円)
親会社	SBI ホールディングス株式会社	東京都港区	55,214	株式等の保有を通じた企業グループの統括・運営等	(被所有) 直接 71.4 間接 9.6	当社役務の提供 資金の調達 役員の兼務	株式の発行 (注)	2,799,993	—	—

記載金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注) 第三者割当増資により、市場価額等に基づき発行したものであります。

以上